

Takashi KAKO Piano SOLO concert 2026

エポックメイキングとなった楽曲を軸にしたプログラム



「パリは燃えているか」(NHK「映像の世紀」のテーマ曲。放送開始からシリーズを重ね30年、曲名に込めた歴史への思い)

「いにしへの響き」(パウル・クレー、絵のインスピレーション。代表作品のピアノ曲集「クレー」に至る一枚の絵)

「ポエジー」(前衛ピアニストの新しい扉。誰もが知る曲「グリーンスリープス」にトライした1985年東京・渋谷のバルコ劇場)

「エンプティ・トランス」(Ushio Amagatsu に捧ぐ。山海塾の、故・天児牛大と組んだ作品『アポカリプス』から渾身の1曲)

...

NHKで放映の『映像の世紀バタフライエフェクト』のために書いた「**グラン・ボヤージュ**」「**風のリフレイン**」、手がけた映画音楽からは「**博士の愛した数式**」が選ばれています。『映像の世紀』で生まれた印象深い佳曲「**神のパッサカリア**」は、オーケストラやチェロとのデュエットなどがありますが、ピアノソロでは存在しませんでした。これを期待に応えてソロバージョンに改作し、2026年春に発売されるピアノ楽譜集に入れて今回のコンサートで初演します。

Photo: Nobuo MIKAWA

心の一音一音を楽譜に書きとめた曲の数々を、
比類なく美しく響かせる姿は、まさに『ピアノの詩人』。
加古隆が憧れる音、ここに 있습니다。

加古隆 (作曲家・ピアニスト)

東京藝術大学大学院・パリ国立高等音楽院にて作曲を学び、現代音楽の巨匠オリヴィエ・メシアンに師事。音楽院を最高位の成績で卒業、帰国。パリ在学中に即興ジャズピアニストとしてデビューするというユニークな経歴を持つ。クラシック・現代音楽・ジャズというジャンルを包含した音楽スタイルで、ピアノ曲からオーケストラ作品まで幅広く、映画音楽での受賞も多い。代表作品に、パウル・クレーの絵の印象を基に作曲したピアノ曲集「クレー」があり、NHK「映像の世紀」シリーズのテーマ曲「パリは燃えているか」で知られる。演奏する音色の美しさから「ピアノの詩人」とも評されており、最新アルバムは、パリ・デビュー50周年を記念した自選映像音楽集「KAKO DÉBUT 50」(エイベックス)。2016年度(第68回)日本放送協会・放送文化賞を受賞。2025年公開された映画「雪の花」(小泉堯史監督)の音楽を担当した。

音楽：加古隆
好評発売中



加古隆デビュー50年記念

加古隆 自選映像音楽集

棲息分布／ポエジー／ジブラルタルの風／パリは燃えているか／黄昏のワルツ／白い巨塔／博士の愛した数式～愛のテーマ／最後の忠臣蔵～夢なれど～／風のリフレイン／グラン・ボヤージュ 他 全36曲収録

CD2枚組 AVCL-84142～3

定価：¥3,300(税抜¥3,000)

avex classics

新刊楽譜 加古隆《神のパッサカリア》

2026年
4月
出版決定!



「神のパッサカリア」ピアノ・ソロ版の楽譜収載!

【収載曲】

神のパッサカリア(ピアノ・ソロ版) / グラン・ボヤージュ / いにしへの響き / 散り椿 / 峠～最後のサムライ / ララバイ・オブ・エヴェレスト / 湖沼の伝説 / 神のパッサカリア(チェロまたはヴァイオリン+ピアノ版) 他

全音楽譜出版社 <https://www.zen-on.co.jp>